

琵琶湖・淀川の未来を見つめる情報誌

BY BLUE

BIWAKO YODOGAWA

SPRING 2000

Vol.6



●始点・視点

総合的科学「陸水学」を
湖保全に生かして
チャールズR・ゴールドマン

●特集

水の雑学小辞典

●BY BLUEレポート

天ヶ瀬ダム—
アオコ削減に効果を
発揮する水力発電

水のある風景

その堂々として豊かな流れは、果てることなく澄んだ水音を奏で続ける。途切れることのない命、暮らし、歴史の源が堰切ったように流れ出す。

PHOTO JOURNEY
宇治川・
天ヶ瀬吊り橋

⑥



琵琶湖から流れ出た瀬田川は、滋賀県境から京都に入り宇治川と名前を変えます。
風雅な趣で平安貴族を魅了した宇治は、
今なお緑や水に恵まれた土地。

平成9年修復工事が完成したこの吊り橋は、天ヶ瀬森林公園や天ヶ瀬ダムの上流。
河原に降りることもでき、週末には釣り人や家族連れなどで賑わいます。

「水のある風景」 写真募集

(採用させていただいた方には)
記念品を差し上げます)

このコーナーでは、あなたが写した琵琶湖・淀川流域
の写真を募集しています。

[応募要領] 撮影場所・撮影年月日・住所・氏名・電話
番号を明記して右記まで。

〒541-0041 大阪市中央区北浜1-1-30 横井北浜ビル3F
(財)琵琶湖・淀川水質保全機構「水のある風景」係

応募いただいた作品はご返却できませんのでご了承ください。

総合的科学「陸水学」を湖保全に生かして

始点・
視点
観点

生態学の分野を先導する陸水学

私が自然に対して脅威と尊敬の念をいだき始めたのは、子供のころ。父と一緒に釣りや狩りを楽しむ中で、父から自然が持つ偉大さに感謝するとともに、自然がいかにもろいものかを教わりました。

大学では陸水学のデビッドチャンドラー教授に陸水学について大きく感化され、さらにG. エヴリンハッチンソン氏の論文を読んで、陸水学が生態学の分野を先導する学問であり、陸水の物理、化学、地理、地学、生物学と広範囲にわたる分野を総合した、重要な学問であることに気づいたのです。

夕水湖の保全活動を始めたのは1958年、カリフォルニア大学に移った後。初めて夕水湖を訪れた時は、その大きさ(500km²)と、アラスカの湖とかわらないくらい透明なのに驚きました。しかし、開発の波は急速に押し寄せており、湖を保全するための市民活動も盛んでした。やがて、湖の保全を進める上で科学の力がどうしても必要となり、私は透明度の定期的測定や藻の繁殖速度などを調べ、ネバダ州とカリフォルニア州の知事へ、新しい機関を設立して夕水湖全水域の開発を制御すべきだと訴えました。結果、夕水湖全水域の開発を規制する権限をもった夕水湖地

域計画局が設立されたのです。確かに開発を推し進める人々からはかなり反対がありましたが、水質が悪化して手遅れになる前に湖を助けようという私の決心は変わりませんでした。

住民、行政、研究者がひとつになって

今回、琵琶湖を訪れて朝日に輝く湖面を見たとき、日本において最大の水資源としても重要なこの湖の美しさにとともに感動するとともに、琵琶湖も生活排水などによる富栄養化の脅威にさらされていると感じずにはいられませんでした。

琵琶湖は国の、そして地域の宝です。その価値は莫大なもので、お金には換算できません。私は40年間、夕水湖やその他世界中の湖の水質保全に努めてきました。琵琶湖においても、住民の皆さん、行政の皆さん、政治家そして研究者の皆さんが一致団結して湖を守っていく努力が必要だと思います。住民の皆さんが琵琶湖の保護について学び、科学者は水質悪化をくい止めるべく長期間にわたって科学的データをとり、それぞれが水質保全を目標として連携しあうことが必要です。皆さんのお一人おひとりが強い意志とリーダーシップをもたれ、水質保全への努力が実を結ぶことを願っています。



チャールズR・ゴールドマン

湖の生産力と人為的富栄養化などの研究が専門。1970年代、開発が進んだ夕水湖の汚染をくい止め、その後米国全土における湖保全の流れをつくる。'98年、夕水湖の保全活動を通して人類の進歩に貢献したことが評価されアルバート・アインシュタイン賞を受賞した他、チェブロン賞など数多くの賞を受賞。気取らずユニークな人柄は全世界の陸水学者から慕われる。世界の陸水学の最新の情報を盛り込んだ著書『陸水学』が日本語訳されている。



あなたも
水知り博士！

今日から

地球上のすべての生命を支えているのが水であることはいうまでもありません。幾万、幾億ある星の中で、生命体の存在が確認されているのは、私たちが住むこの地球だけ。それも水があるおかげなのです。

そして、この命の源である水は、いつも私たちの暮らしの身近に存在しています。朝の洗面、料理、炊事、風呂……蛇口をひねれば当たり前のように水は出てきます。でも、身近すぎて、当たり前すぎて、じっくり水を見つめる機会ってあまりなかったかも知れませんね。こんなに身近にありながら、水について私たちが知らないことってたくさんありそう。「そういえば、コレってどういうこと……??」、今回はそんな水に関する話題をいくつか集めてみました。



水の富栄養化は どうして起こるの？

植物性プランクトンや水藻類の栄養源が少なく、清澄な貧栄養湖に対し、栄養塩類に富み、植物性プランクトンなどの繁殖が著しい湖を富栄養湖といえます。

湖の富栄養化は水に窒素やリンなどの栄養塩類が流入することから始まります。集水域が森林に覆われ、人間活動の影響が少ない河川や湖沼では、窒素の濃度は水1リットルあたり1ミリグラム程度、リンはさらにその10分の1程度しか含まれず、植物プランクトンはわずかに増えるだけで、水は清澄に保たれます。

しかし、河川や湖に化学肥料や家畜糞尿を発生源とする窒素やリンが流入し、これらの濃度が10倍以上になると、植物プランクトンや光合成を行う藻類が活発に増殖を始めます。その結果、水は濁りドロドロしていきまます。

やがて植物プランクトンがさらに増殖すると、水に溶けている酸素が消費され、湖水は酸素のない状態になります。魚の種類も変化し、水は悪臭を発生し、味が悪くなって、飲料用水としてはもとより、その他の用水としても価値が著しく損なわれます。

富栄養化を進行させないためにはまず、生活排水、産業排水などから窒素やリンを除去することが必要なのです。



【参考資料】

日本経済新聞社編「水を考える」日本経済新聞社／土木学会関西支部編「水のなんでも小辞典」講談社／安東 毅・小林 勇監修「よくわかる水問題」合同出版／平澤猛男「水のふしぎ発見」山海堂／橋本淳司「水のおもしろふしぎ雑学」オーエス出版社

おいしい水って、どんな水？

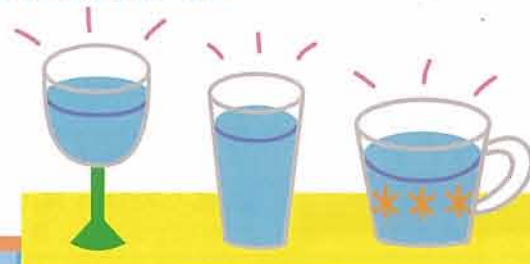
本来、水は無味無臭の物質。ならば、最近盛んに言われる「おいしい水」ってどんな水なのでしょう。

おいしく感じるか、まずく感じるかは個人差が大きく絶対条件はないといえます。ここでは、かつて、おいしい水の条件として厚生省の「おいしい水研究会」が示した幾つかの項目をもとに、おいしい水の条件を見てみると、まず水をおいしくする要素の1番めは、ミネラル。これは水の味を左右する成分で、ミネラルが適量だとコクのあるまろやかな味となり、多くなるほど苦味や渋味が増し、辛い感じの水になります。

次に硬度。これはカルシウムやマグネシウムが含まれる割合で、硬度が高いほど苦味が増し、低いと味気無い水になります。最適はおおよそ50ppm前後。このあたりがおいしい水の最適領域とされています。

そして、炭酸ガス。これは天然水には必ず含まれています。適量だとさわやかな清涼感があり、胃にも良い効果をもたらします。多すぎると刺激が強い感じに。また、酸素の量も多少清涼感に関係しています。

さらに、水温。適温は10～15度（体温より20～25度低い温度）の範囲で、温度は高いより低い方が一般的においしさを感じるようです。



環境庁が1985年に発表した日本の「名水百選」。これは、清澄な水で、古くから地域住民の生活に溶け込み、住民の手によって保全活動がされているものを基準として選定されました。また、規模や故事来歴、希少性、特異性、著名度なども考慮されています。全国各地に点在する名水を広く国民に紹介することによって、水環境への関心や保全活動の意識を高められるという目的をもった選定でした。

百名水には山麓の湧水や地下水がおおいので、名水11多いようです。たしかにおいしい水として有名なものも選ばれています。百選のすべてが飲み水として安全で優秀であるという基準で選定されているわけではなく、むやみに飲むのは避けるべきでしょう。



なぜ生き物には水が必要なの？

水には物を溶かす性質と、熱を吸収する性質があるのはご存じの通り。実はこの水の性質が生物が生きて行く上で不可欠なのです。

1グラムの水が蒸発するとき、0.6キロカロリーの熱を周りから奪います。これは他の物質に比べて非常に大きな値です。人間は体温が45度まで上がると死んでしまいますが、この、水の熱を吸収する性質こそが体温を適度に保つ役割を果たしてくれているのです。もし水に熱吸収の性質がなければ、体温は100度まで上がってしまうといわれています。

また、物を溶かす性質は、栄養を吸収し、不要物を排出する役割をしています。例えば血液中には約80種類以上のタンパク質やブドウ糖、ミネラルなどが溶け込んでいますし、また、尿や汗などに体の老廃物を溶かして体外に排出しています。この働きのために体内を駆け巡っている水の量はのべ約180リットル。血管から細胞膜を通り、各組織の細胞の中に入って、生物活動の根本を支えているのです。



表面張力って、ナニ？

コップやスプーンに入れた水が、縁を超えて盛り上がる——これは表面張力の仕業。液体の分子は、その隣り合った分子によって前後左右、上下に引っ張りあっています。これが液体の表面になると、上下方向の引っ張りあいがなくなり、下方向の力だけに限定されます。そのため、液体表面には内部に入り込もうとする力、つまり表面積を小さくしようとする力が働くのです。

水がコップやスプーンの縁からこぼれずに盛り上がるのも、あめんぼが水の上をすいすい動いたり、1円玉が浮かぶのも表面張力の仕業。表面を小さくしようとする力が、ピンとはった布のように支えているからなのです。



地球上に水ってどれくらいあるの？

水の惑星とよばれる地球上に存在する水の総量は、その見積もり方にもよりますが、約13.8億立方キロメートルとされています。分布をみると、その約97.5パーセントが地球表面の3分の2を覆う海水です。よって人間が利用できる淡水は地球上に存在する水のわずか2.5パーセントにあたる約3500万立方キロメートルにすぎません。しかも、淡水の約70パーセントが南極や北極地域などの氷雪。さらに残りの大半は地下水であり、そのまた約半分は、地下800メートル以下の深い地層にある水です。結局、人間が現在おもに利用している淡水は、降水を主な補給源としている比較的浅い層にある地下水と淡水湖や河川の水です。これらは合計しても地球全体の水の0.3パーセント以下、量にして約500万立方キロメートルです。数字だけを見ると、地球上の水資源はとても豊富に思えますが、普段使える地球の水の量は案外少ないものなのです。



朝、起きがけの一杯の水——なぜ体にいいの？

普通、早朝の私たちの体は水分が減少し、脱水状態寸前になっています。人は寝ている間にながりの汗をかき、朝は老廃物を含んだ尿を排泄するため、一日中でもっとも体の水分が少なくなっているのです。体の水分が少なくなるといことは、つまり血液の中の水分含量も低下するということ。その結果、血液は粘っこくなり、心筋梗塞や脳梗塞が起こりやすい状態になっていきます。そのままでジョギングなどの運動を行ったら、急死の可能性すらも!!朝起きたら、まずコップ一杯の水。これは消化器を刺激して便通を促すとともに、体内の減少した水分を補い、血液の粘性を低めるのに大きな力を発揮してくれるものなのです。



アオコ削減に効果を発揮する水力発電

天ヶ瀬ダムは、浄化施設がないにもかかわらず、アオコの発生が今までありませんでした。ところが、昨年夏から秋にかけてアオコが発生。その削減策を講じるための調査を行ったところ、当ダム内で行っている水力発電がアオコの削減に大きな効果をもつことが分かりました。



さ まざまな役割を担った多目的ダム

琵琶湖流域を含む全流域面積4,200km²を擁する天ヶ瀬ダム。多目的ダムとして建設されたこのダムの役割は、ひとつには、ダム地点の流量を調節し、宇治川の氾濫を防止すること。そして宇治市、城陽市、八幡市、久御山町の4市町に対する上水道用水としても、京都府企業局山城上水道へ最大0.3m³/sを供給しています。さらに、ダム上流の関西電力喜撰山発電所とダム下流左岸の関西電力天ヶ瀬発電所では、あわせて最大力558,000KWを発電しており、約人口60万人分の電力を供給しています。

良 好きな水質を維持

水質においては、琵琶湖南湖の水質の影響を受ける天ヶ瀬ダムですが、現在は、貯水池内の3地点で流入4支川のそれぞれの流入端で毎月1回、水の汚れや濁りについての水質調査が行われています。BOD（生物学的酸素要求量は0.5〜20mg/l程度で、年々低くなっており、ダムの水がきれいになっていくことを表しています。

他の項目においても環境基準値を全てクリアしている当ダムは、貯水池内に水質浄化用の噴水などを設置することもなく、同水系の他のダムと比べてもさらに良い水質を維持しています。



水 力発電のアオコ削減効果を調査

しかし天ヶ瀬ダムでも平成10年8月、約20年ぶりにアオコの発生が確認されました。アオコが発生すると水中の酸素が欠乏し、ひどい時には魚介類が死滅したり、悪臭を放つたりします。この時、アオコ削減のために注目されたのが、当ダムの上流にある喜撰山発電所による揚水・放水でした。

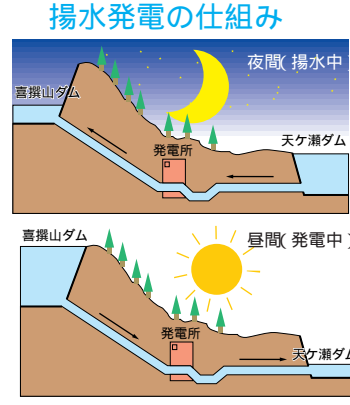
水が高いところから下へ落ちるときに力を利用して発電機を回し電気をつくるのが水力発電ですが、天ヶ瀬ダム上流には揚水発電所の喜撰山発電所があり、夜に余った電気を利用して喜撰山発電所にダムの一部の水を汲み上げ、朝から発電して天ヶ瀬ダムに水が送られてくるという揚水式の発電が行われています。喜撰山ダムの発電1回で、天ヶ瀬ダムの水位は約2m上下します。

同ダムでは、アオコが発生した平成10年8月は、喜撰山ダムの活動がなかった時期であったことに着目し、喜撰山ダムの運転がアオコ削減に影響を及ぼしているかどうかを検討する調査として、運転をストップしていた喜撰山ダムの発電を1日だけ行いました。

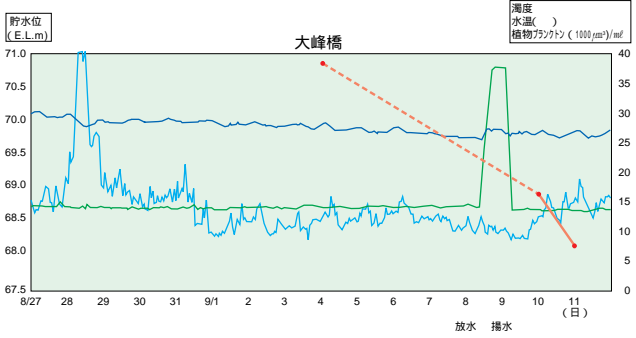
ダム 操作による水質改善に大きな期待

その結果、下のグラフのように、喜撰山ダムの運転に伴って植物プランクトンの値は激減し、アオコはほとんど消滅しました。

アオコは、老化して水面に浮かんだ植物プランクトンの集団といえます。植物プランクトンを光り届かない湖底に沈めてやればアオコは除去できるのです。この調査の結果から、喜撰山ダムの運転により、天ヶ瀬ダムの水位が大きく変動することで岸辺から濁りが生じ、濁水に含まれる微細粒子がアオコを吸着して、湖底へ沈降させたことが分かります。つまり、喜撰山ダムを運転してダム湖の水位を上下させることがアオコ削減に効果的であることが分かったのです。天ヶ瀬ダムでは、喜撰山ダム操作による水力発電は、他の水質改善にも効果があるのではない



天ヶ瀬ダム湖におけるアオコの調査



かと考えており、この調査・実験結果をさらに深く裏づけるためにも、水質の自動監視を今年4月から開始する他、全国ではじめて水力発電と水質改善効果の関係を解明することを目的とした調査を、関西電力と協力して進めていく予定です。



「ダムは治水・利水だけでなく、水質改善にも役立つそれを明らかにするためにも、リアルタイムの水質管理システムを充実させていく予定です」と、近畿地方建設局淀川ダム管理事務所・**斎藤信彦さん**



琵琶湖・淀川水系の水質保全対策 水質の測定と管理

各関連機関で独自の測定

琵琶湖・淀川水系では、各府県ごとに策定される水質測定計画にもとづき、多数の関係機関によって水質の測定が行われています。これらには、水質汚濁防止法による「公共用水域の水質測定計画」に基づく定期の水質測定のほか、府県・市の水道局、保健所等の機関が独自に行っているものもあります。測定地点数は同水系全体でおよそ300。これに加えて浄水場原水や下水処理場放流水、ダム湖水などの測定がそれぞれの機関で独自に実施されています。

観測地点で異なる項目、頻度

水質の測定項目や頻度は実施する機関でそれぞれに異なっています。水質観測計画に基づく定期測定では、測定項目は環境項目、健康影響項目など10〜30項目程度で、観測地点や時期によって異なります。主要な項目については毎月もしくは月2回、その他は年1〜6回程度実施されています。浄水場での原水の測定は、項目、頻度については浄水場によって異なり、施設能力が高いほど、また、琵琶湖・淀川流域の下流へいくほど項目数、頻度も多くなる傾向があります。下水処理場での放流水の水質測定では、水温、透明度、pH、BOD、COD、SS、大腸菌群数といった項目について測定され、さらにダム湖においては全

測定機関	河川別地点数	
滋賀県	琵琶湖(南湖)	2
	琵琶湖流入河川	1
大津市	琵琶湖(南湖)	4
	天ヶ瀬ダム	1
京都府	木津川	1
	宇治川	1
京都市	琵琶湖(南湖)	9
	宇治川	1
大阪府	琵琶湖(南湖)	3
	瀬田川	1
大阪市	木津川	1
	宇治川	2
大阪市	桂川	1
	淀川	7
大阪市	琵琶湖	5
	宇治川	1
大阪市	木津川	11
	桂川	1
守口市	淀川	14
	瀬田川	1
枚方市	桂川	1
	木津川	1
枚方市	宇治川	1
	淀川	1
寝屋川市	淀川	4
	淀川	2
吹田市	2	
奈良県	木津川	4
阪神水道企業団	琵琶湖(南湖)	15
	瀬田川	1
計	宇治川	4
	木津川	3
計	桂川	3
	淀川	4

注) 複数機関による同一地点の測定は延べ地点数

各府県の水質監視システム

琵琶湖・淀川流域の各府県では、それぞれ独自の水質監視システムや情報処理システムが構築されています。三重県では、水質情報を含め環境全般に関する情報をデータベース化し、必要な情報を必要な形で提供・活用できるシステムの整備が進んでいます。水質自動測定局において9項目(水温、pH、電気伝導率、DO、濁度、CO



総合自動観測施設(雄琴沖)

D、全窒素、全りん、クロロフィルa計)を自動測定している滋賀県では、これらのデータをテレメータにより衛生環境センター・中央局に伝送して、集中監視を行っています。また、京都府では、産業系、生活系等の発生源データ、公共用水域等の環境データなどをパーソナルコンピュータにより一元的に管理するとともに、各種情報を統計処理しています。環境行政の総合的な推進を支援する環境情報システムの整備を図っている大阪府では、さらに、コイの忌避行動を利用して微量有毒物質を検知する「コイセンサー」や揮発性有機物質を基準地以下の低濃度まで連続して測定できる「ゆうきセンサー」を稼働している浄水場があります。

兵庫県では、発生源データや環境水質測定データを総合的、有機的に結合し、水質保全のための各種資料を提供する「水質管理システム」の整備・拡充が行われているほか、奈良県でも水質、大気、騒音等に關する諸データを一元的に管理することで情報検索を容易にし、環境汚染のメカニズムの解析と将来予測を行うことを可能にする「環境情報管理システム」を構築しているところです。

海外調査団報告

ベネチアラグーンの保全

当機構が実施したヨーロッパでの視察調査の中から、ベネチアラグーン(ベネチア)の水質保全対策についてご紹介します。

人間活動による水質汚濁が進行

ベネチアラグーンは、満潮時420km²で、イタリヤ本土の流域の水とベネチア島、他島の排水が流入し、流出先はアドリア海で、水の出入り口は現在3ヶ所となっています。内湾、アドリア海とも漁業が盛んで、水質保全は重要な課題です。

近年、ベネチアラグーン周辺での諸々の経済活動、都市活動は、地下水の汲み上げによるラグーン底の沈下や流入汚水の増加といった環境悪化の要因をもたらす、ラグーン水域の停滞による富栄養化やラグーン内生物の多様性の喪失といった現象を引き起こしています。

ラグーンの形態学的保全を基本方向に

このような環境悪化に対し、ラグーンを管理する役割を担うベネチア協議会は、ラグーンの形態学的保全を基本方向とする保全総合計画を策定し、それに基づいて保全事業を実施しています。

ラグーン保全の達成度合の指標としては、浅瀬の侵食の抑制、ラグーン底の平坦化の防止、バレーナ消滅の抑制、土砂流出の平衡化、水質の向上などがあり、これらを総合的に進めることが目指されています。具体的には、ラグーンの水路から浚渫した流出土砂をラグーン復元のための建設材料とする、瓦礫を用いた中小の諸島の形態を復元する、Eelgrass phanerogamsをラグーンの底に移植する、海の堆積土砂をラグーン内に人為的に移動させる、といった事業が計画されています。

流入汚濁を削減するために

一方、ラグーンへ流入する汚染物質を管理する役割を担うベネチア協議会、農業、畜産の分野での汚染源(予防)対策、流出管理対策、および河川・運河内の浄化対策を骨子とした水質汚染管理計画を策定しています。

汚染源対策においては、例えば農業分野では、技術支援サービスや「農業化学サービス」など、農民が自分の土地の最良の耕作法を選択するために有用な情報を提供するとともに、自然環境に適合した農業生産法を導入する場合には発生する生産コストの増加に対して補助金制度を導入するといった施策も行われています。また、畜産の分野でも、飼料の改善、排泄物の活用、生産設備の再編成による環境を配慮した生産法導入に対する補助金の交付や、畜産農家のための諸サービスの提供を行っており、それによって、畜産における使用水量の節約や有機農業の促進、液体廃棄物分解などの実現を目指しています。



ベネチアラグーン

水 辺からのメッセージ

奈良県では、昨年7月24・25日の両日にわたり、奈良市を中心とした布目ダム周辺において、平成11年度「99水と緑とまほろばフェスタin布目」を開催いたしました。

この行事は毎年7月21日から7月31日までの「森と湖に親しむ旬間」の一環として行われる全国行事のひとつです。今回古都奈良でこの行事が行われたことは、単なる森と湖に親しむのみならず、奈良にある豊かな歴史的・文化的資源と、さらにそれを取り巻く歴史的風土を手がかりに、うるおいのある都市づくりの課題を探り、水と緑をどのように取り入れ復活させ保全していくかを議論する



奈良 森と湖の古都奈良から 21世紀のメッセージ

ことに大きな意義があったと考えています。

これまでの河川行政は、計画して制御することの連続でありましたが、21世紀の河川行政は住民主役が第一目標であり、21世紀の資源循環型社会への移行に向けて、人間が資源を守り、有効利用を図っていかねればならない時代がきています。その意味で、自分たちの住む場所・地域をよく知り、奈良の歴史性を再確認するこの行事は、そういった学習の場を提供するとともに、新しい水・緑・都市・人間のあり方について、ここ古都奈良から全国に向けてのメッセージを、将来にわたって風化することなく、次世代へ伝えていくことこそが、この行事の最大の成果であったと考えます。(奈良県土木部河川課)



平成12年度「琵琶湖・淀川水系の水環境改善事業助成」 「琵琶湖・淀川の水辺を愛する活動助成」

募集のご案内

琵琶湖・淀川水系の水環境改善事業助成

助成対象事業

地域に密着した身近な水質浄化事業
水質浄化事業に必要な材料調達システム作り及び材料調達
水質浄化事業におけるリサイクル推進事業
上記に関連する研究

助成資格 所在地が流域内にある以下の団体または個人(個人への助成は研究のみ)

特殊法人、公益法人(商法で規定される法人は除きます。)
大学、研究機関及びこれらに所属する個人(国公立は除きます。)
他の助成を受けていないこと
研究については、過去3年以内に本助成を受けていないこと

助成内容

・両助成ともに1件あたりの助成金額は30万円程度とします
・助成金の用途は、助成の目的を満足するものであれば、とくに制限は設けませんが、助成を受けた団体又は個人の事務所そのものの運営に関する経費、人件費等は除きます

琵琶湖・淀川の水辺を愛する活動助成

助成対象活動

水質の保全・改善に関する活動
自然生態、親水、水源涵養等の機能を保全・改善する活動
水環境について知り、理解する活動

助成資格 以下のすべての条件に該当する団体

河川浄化・愛護活動を行っていること
活動の拠点または活動対象の河川・湖沼が琵琶湖・淀川流域内であること
過去1年間以内の活動実績があること
他の助成を受けていないこと
過去3年以内に本助成を受けていないこと

申し込み受付期間:

平成12年3月1日～平成12年5月31日(必着)

選考委員会で審査を行い、選考結果を6月末に通知いたします。

上記助成を希望される団体・個人は応募方法を(財)琵琶湖・淀川水質保全機構企画開発部までお問い合わせの上ご応募下さい。(インターネットでもご案内しています。)

TOPICS シンポジウム「琵琶湖・淀川の変化を診る」開催



去る2月1日、当機構は京都市国際交流会館において、琵琶湖・淀川の水質変化のナゾを探り、今後の琵琶湖・淀川のあり方を考えるためのシンポジウム、「琵琶湖・淀川の変化を診る～琵琶湖・淀川の水質変化のナゾに迫る～」を開催しました。

研究者や行政関係者による講演とパネルディスカッションが行われたシンポジウムでは、これからの琵琶湖・淀川の水質保全における観測方法の充実や科学的データの必要性、さらに水質保全への住民参加の重要性などが議論され、たいへん意義深い内容となりました。

編集後記

『水の雑学小辞典』、お役に立ちましたか？
知ってるようで知らないこともあったのでは。
「こんなこと知ってるぞ」「こんなこと知りたい」

という方は是非ご一報を。皆さんのご意見、ご感想をお待ちしております。
(M.O., Y.M)

大橋渡れば、花の島。

淡路花博

ジャパンフローラ2000

テーマ 人と自然のコミュニケーション

普通入場券(大人) 2,600円(当日料金2,900円)

フローラパス(全期間通用入場券)(大人) 7,100円(当日料金7,900円)

会期 2000年3月18日(土)～9月17日(日) 184日間
会場 兵庫県淡路島(淡路町・東浦町)



財団法人 琵琶湖・淀川水質保全機構
Lake Biwa-Yodo River Water Quality
Preservation Organization

(財)琵琶湖・淀川水質保全機構は、淀川水系における河川・湖沼水の水質浄化技術及びこれに関連する技術に関する研究開発、水質浄化事業の支援等を行うことにより、淀川水系の水質保全に寄与し、もって潤いのある地域社会の形成と、関係住民の生活環境の向上に資することを目的としています。